

『熊谷ファームラボ』プレイヤー募集の説明



日時 令和5年8月30日（水）
会場 妻沼中央公民館 大ホール

説明者 熊谷市産業振興部農業政策課
主事 夏目 雄介

『熊谷ファームラボ』プレイヤー募集



【事業実施主体：熊谷市農産物ブランド化推進協議会・令和3年7月設立】

熊谷市農産物ブランド化推進協議会 組織図

協議会	市長への提言を決定する機関		
	【委員選出団体】熊谷市めぬま園芸振興協議会、(株)熊谷青果市場、(株)ティアラ21、NPO法人子育てネットくまがや、熊谷市農業委員会、くまがや農業協同組合、熊谷商工会議所、くまがや市商工会、一般社団法人熊谷市観光協会、埼玉県大里農林振興センター、熊谷市産業振興部、埼玉県立熊谷農業高等学校、埼玉県農業大学校校（13名）		
幹事会	協議会に付議すべき事項を協議。専門部会との中継。事業の実施。		
	【幹事選出団体】(株)熊谷青果市場、熊谷市農業委員会、くまがや農業協同組合〈2名〉、熊谷商工会議所、くまがや市商工会、一般社団法人熊谷市観光協会、埼玉県大里農林振興センター、熊谷市産業振興部〈4名〉（12名）		
専門部会 (専門知識・自由な発想)	ブランド認定基準・認定事業	品目別ブランド化支援	
	① ブランド化認定基準の検討・提案 ② ブランド化認定事業の検討・提案 ③ 周知・宣伝活動の検討・提案	農産物	加工品
		① 既存農産物及び新規農産物のブランド化についての研究・支援 ② 生産流通体系の確立	① 既存加工品及び新規加工品のブランド化についての研究・支援 ② 地元産業とのコラボ検討 ③ 生産流通体系の確立
	【部会員選出団体】 (株)熊谷青果市場 くまがや農業協同組合 埼玉県大里農林振興センター 熊谷商工会議所 くまがや市商工会 一般社団法人熊谷市観光協会 熊谷市産業振興部 有識者（コンサルタント・農業者）等	【部会員（品目ごとに）】 ・支援を受ける者の要望を確認し、委員選出団体から選任 ・有識者（コンサルタント、農業者）	【部会員（品目ごとに）】 ・支援を受ける者の要望を確認し、委員選出団体から選任 ・有識者（コンサルタント、農業者）

『熊谷ファームラボ』プレイヤー募集



【事業実施主体：熊谷市農産物ブランド化推進協議会】

「熊谷といえばこれ！」と言われるような『熊谷の顔』となる農産物及び加工品を発見、育成し、ブランド認証する

令和4年1月「熊谷市農産物ブランド化戦略」策定

〔プロジェクト名称：KUMAGAYA FARM LAB 『熊谷ファームラボ』〕

① 農産物・農産物加工品のブランド化に意欲のあるプレイヤーの認定 & ②育成

【認定審査会】

プレイヤーを公募⇒熊谷市農産物ブランド化推進協議会委員等により審査

審査会で認定されたプレイヤーを段階的な補助金交付と人的サポートにより、既存・新規の熊谷市産農産物や熊谷市産農産物の加工品の生産・開発を支援



【『熊谷ファームラボ』補助金】

ステップ1（農産物10万円・加工品30万円）
…協議会で認定された場合に交付

ステップ2（農産物15万円・加工品45万円）
…製品の流通確立

ステップ3（農産物25万円・加工品75万円）
…別途定める基準によりブランド認証

③販売促進 & ④PR
販売機会創出・積極的なPRを支援

⑤ブランド認証・市長名で認証
※「(仮称)熊谷ブランド」認証基準の策定

『熊谷ファームラボ』プレイヤー募集



プロジェクト名称とシンボルマーク

プロジェクト名称を

「KUMAGAYA FARM LAB（熊谷ファームラボ）」とし、
ロゴを使用して対外的なPRを行います。

ロゴを使用することで、本プロジェクトをイメージとして
印象づけ、さらには、ロゴコンセプトも発信しながら、共感や
期待値を高めていきます。

【ロゴマークの意味】

「研究する」というコンセプトから、
名称「KUMAGAYA FARM LAB（熊谷ファームラボ）」とし、
文字の一部である「Y」を、農作物の「芽」に変更することで
印象に残るデザインとしました。
また、この「芽」はブランド化が初期段階であることを
意味し、これからのブランド化事業の成長と、熊谷市の
農業の発展への想いを込めました。

上下の青線は、熊谷市の南北を流れる荒川と利根川を、
中心の茶色線は熊谷の大地を表現しています。水の恵みは、
熊谷市の肥沃な土壌を作り、また暮らしや産業の発展にも
深く関わっていることから「水」と「土」を表すデザインとし
ました。

～募集内容～

- (1) 認定対象：下記のいずれかの生産に取り組むプレイヤー
 - ① 熊谷市産農産物
 - ② 熊谷市産農産物を原材料とする加工食品

- (2) 申請資格：下記のいずれかに該当するプレイヤー
 - ① 熊谷市内に生産、製造、開発、加工の拠点がある個人または法人
 - ② ①に該当する者を主要な構成メンバーとするグループ

- (3) 認定数：以下の件数を上限に認定
 - ① 熊谷市産農産物に取り組むプレイヤー：**2件**
 - ② 熊谷市産農産物を原材料とする加工食品に取り組むプレイヤー：**1件**

- (4) 認定の有効期間
認定日から2年間を経過した日の属する年度の3月31日まで
…令和8年3月31日 ※1回のみ認定延長が可能

『熊谷ファームラボ』プレイヤー募集



～申請方法～

- (1) 申請期間：8月30日（水）～9月20日（水）
- (2) 提出書類
 - ① 熊谷市農産物ブランド化戦略『熊谷ファームラボ』認定申請書（様式第1号）
 - ② 申請者の概要が分かる資料（総会資料・会社案内・事業概要等）
 - ③ 熊谷市に生産、製造、開発、加工の拠点があることを示す資料
- (3) 認定申請書（様式第1号）の入手方法
市ホームページからダウンロード
- (4) 申請書記入のポイント**
「申請取組の特徴」をわかりやすく具体的に記入
- (5) 申請書提出先
熊谷市産業振興部農業政策課
（熊谷市農産物ブランド化推進協議会事務局）
〒360-0292
熊谷市弥藤吾 2450番地 妻沼行政センター1階
電話：048-588-9987
メール：nogyoseisaku@city.kumagaya.lg.jp
- (6) 提出方法・提出部数
 - ① 直接・郵送・・・2部
 - ② メール・・・PDFファイルで提出

様式第1号（第6条関係）

熊谷市農産物ブランド化戦略「熊谷ファームラボ」認定申請書

（中略）

申請対象 ※いずれかに○をする	(1) 熊谷市産農産物 (2) 熊谷市産農産物を原材料とする加工食品
申請対象の農産物名及び取り組みの概要	
生産・製造・開発・加工等の拠点の所在地	熊谷市
申請取組の特徴	
地域特性	
独自性	
優位性	
信頼性	
持続可能性	
地域への貢献度	
その他 （アピールしたいこと）	

※申請書の「申請取組の特徴」を次のページの「認定審査基準」を参考にわかりやすく具体的に記入

『熊谷ファームラボ』プレイヤー募集



～認定審査の流れ～

◎熊谷市農産物ブランド化戦略『熊谷ファームラボ』認定審査基準

(1) 資格審査

- ① 熊谷市農産物ブランド化推進協議会事務局で審査
- ② 熊谷市農産物ブランド化推進協議会幹事会で確認
⇒資格審査合格者に認定審査会の通知

(2) 認定審査会

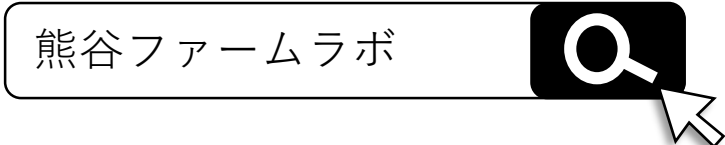
- ① 予定日時：10月24日（火）午前9時～
- ② 審査方法
熊谷市農産物ブランド化推進協議会委員及び委員の推薦を受けた者が、「熊谷市農産物ブランド化戦略『熊谷ファームラボ』認定審査要領」に基づき審査
- ③ **申請者によるプレゼンテーションを実施予定**
※申請書の「申請取組の特徴」を認定審査基準を参考にわかりやすく具体的に記入しておくとうい

(3) 認定審査結果

- ① 11月上旬・認定結果通知
- ② 11月下旬・認定書授与

項目	審査基準
地域特性	【熊谷市の地域特性が活かされていること】 ・生産・製造の過程が、熊谷市の気候風土に適している。 ・熊谷市の自然、歴史、環境、伝統、文化を活用している。 ・加工食品の取り組みについては、熊谷市産農産物を十分に活用している。
独自性	【取り組みに独自のこだわりを持っていること】 ・生産・製造の過程において、独自性又は他の類似品にはない工夫がある。
優位性	【同様の取り組みとの差別化を図っていること】 ・類似品が少なく、希少性がある。 ・生産・製造の過程及び流通・販売段階での優位性の確保に向けた取り組みがある。
信頼性	【法令や環境等に配慮し適正に行われること】 ・生産・製造の過程において、法令の順守や環境への配慮の意思が示されている。 ・生産・製造の過程及び流通・販売の段階において、安全性及び品質保証が可能な管理体制である。
持続可能性	【持続的に取り組む能力があること】 ・将来的に持続可能な生産・販売ができることが見込まれる体制である。 ・後世に伝えていくに値するものである。
地域への貢献度	【地域経済に貢献する取り組みであること】 【地域のモデルとなる取り組みであること】 ・熊谷市の農業・工業・商業への経済効果が期待できる。 ・熊谷市民に支持される見込みがある。 ・熊谷市のイメージアップへの貢献が期待できる。 ・生産・製造の過程及び流通・販売の段階において、体制等が地域のモデルとなることが期待できる。

『熊谷ファームラボ』 プレーヤー募集



『熊谷ファームラボ』プレイヤー募集



「『熊谷ファームラボ』プレイヤー募集」ホームページQRコード

ご静聴ありがとうございました